

当たり前の日々が、どれほど尊いか。 「いのち」と向き合い最前線で活躍する医師や専門家たちが一堂に会し、人生の終わりに向き合うことで、生を 深め、命の本質に触れる2日間。

アーカイブ版のご購入をご希望の方も、参加申込フォームよりお申し込みいただき、公式LINEへご登録

ください。公式LINEにて「アーカイブ購入」についてのご案内をお送りさせていただきます。

開催にあたって

Greetings

命と向き合う2日間一

「死」を見つめ、「生きる力」を取り戻す 新型コロナウイルスのパンデミック、各地で頻発する自然災害、戦争や事故の報道 こうした出来事が日常に入り込む今、私たちはこれまで以上に「死」を意識するようになり ました。 実際、国立精神・神経医療研究センターの調査(2021年)では、コロナ禍以降に「死につ いて考える機会が増えた」と答えた人が約6割にのぼっています。 それでもなお、多くの人にとって「死」は漠然とした不安の象徴であり、どこか他人事のよ うに捉えられがちです。 けれども、「死」はすべての人に平等に訪れる現象です。だからこそ、それを正面から見つ めることは、逆説的に「どう生きるか」という根源的な問いを深める入り口でもあります。 特に日本においては、がんが死因の第1位を占めており、厚生労働省の「令和5年(2023 年)人口動態統計」によれば、年間の死亡者のうち約25.6%ががんによるものです。つま り、4人に1人以上ががんで命を終える時代に私たちは生きています。これは、もはや誰にと っても他人事ではありません。 本サミットでは、医療現場の最前線で日々「生と死」に向き合う医師や終末期ケアの専門 家、さらには実際に大きな病を経験した当事者の声を通して、「死」そして「生」の意味を 考えていきます。 「自分の命をどう使い切るか」「何のために生きるのか」 こうした問いに、参加者一人ひとりが真摯に向き合う2日間です。 科学、医療、哲学、精神性 さまざまな視点を通じて、「死」を学び、「生きる力」を取り戻す時間へ。ぜひご参加くだ さい。



をきっかけに心理学・脳科学・東洋医学・代替医療を学び、「病は本当の自分とのズレ」から起こるという考え

そのために、医療の枠を超えて、"病"や"命"への見方そのものを問い直す活動を展開。

100年時代の医療の新常識』を主催。2794名が参加し、医療と心のつながりに光をあてた。

かせて生ききる社会"の実現に挑む。

に出会う。言葉と心理技術によって信じ込みを手放すことで、心と体に変化が起こることを実体験。自身の花粉 症や夫婦関係、子どもの問題も改善。 「病気のない世界、医師のいらない世界」を目指し、"ひとりひとりが自分の価値を創造し、命をめいっぱい輝

さらに、2025年には"お産=痛い"という思い込みをくつがえし、親子の人生のはじまりをより幸せにするため に『お産のパラダイムシフトサミット〜無痛安産からはじめる幸せな子育て〜』を開催。 「医療を変えることは、生き方そのものを変えること」 そう信じ、今この瞬間を生きる力を、一人ひとりが取り戻すための活動を続けている。

2024年には、医療の在り方に一石を投じるべく、『医療のパラダイムシフトサミット2024~病は氣から~人生

TOKUKO NOGAMI ONLINE COUNSELING セルフインテグレーション

> 登壇者紹介 Guests

池川クリニック院長・産婦人科医・医学博士 帝京大学医学部卒。同大学院修了。医学博士。上尾中央総

合病院産婦人科部長を経て、平成元年(1989)横浜市金

沢区に出産を扱う有床診療所池川クリニックを開設。平成

13年(2001)9月、全国保険医団体連合医療研究集

会で 『胎内記憶』について発表しそれが新聞で紹介され

話題となる。現在は外来診察の傍ら胎内記憶を広めるため

池川 明

の講演活動とセミナーを行っている。平成29年(201 7年) に一般社団日本胎内記憶教育協会を立ち上げ代表理 事を務める。 『人が生まれてくる本当の理由』(パブラボ) 『ママ、パパ、生まれる前から大好きだよ!』 (学研プラ ス) 『胎内記憶図鑑』(東京ニュース通信社) など、著書 多数。

東京都内の一般家庭に生まれ、縁あって僧侶となる。「自

分らしい方法で仏教を伝えたい」と発願し、平成18年に なごみ庵を開所。自坊ではお盆やお彼岸、報恩講などの仏

教行事に加え、法話会・写経会・長いきの会・笑いヨガな

ど多彩な活動を定期的に開催し、宗教・宗派を問わず多く

もとは医療者向けのワークショップである「死の体験旅行

®」を一般向けにアレンジし開催。受講者は昨年5,000人



を超える。 宗派を越えた活動として、「仏教死生観研究会」代表、 「自死・自殺に向き合う僧侶の会」共同代表、「お坊さん Q&A hasunoha」回答僧などを務める。

加藤 直哉

浦上 哲也

浄土真宗「なごみ庵」住職

の人々が集う場所になっている。

こもれびの診療所 院長・統合医療医

し、0歳から100歳まですべての年齢に対して西洋医学的 経験を持つ。東洋医学や漢方にも精通。 2020年5月、これらの知識を融合させた「こもれびの診 療所」を開院。どこにいっても改善しなかった心・体・魂 の苦しみを抱える患者さんたちを西洋医学・東洋医学 (鍼・灸・漢方)・心理学・催眠療法(過去生療法な ど)・補完代替医療の5つを駆使して治療を行っている。

その他、死生学、恋愛学のスペシャリストとして、「愛」

と「死」についてのセミナーも積極的に行っている。

2000年琉球大学医学部卒業。新生児特定集中治療、重症

心身障害児施設などの勤務を経て小児科専門医を所得。そ

の後内科・ペインクリニック・老人保健施設で数年経験

柴田 久美子 日本看取り士会 会長 島根県出雲市生まれ。日本マクドナルド㈱勤務を経てスパ

ゲティー店を自営。平成5年より福岡の特別養護老人ホー

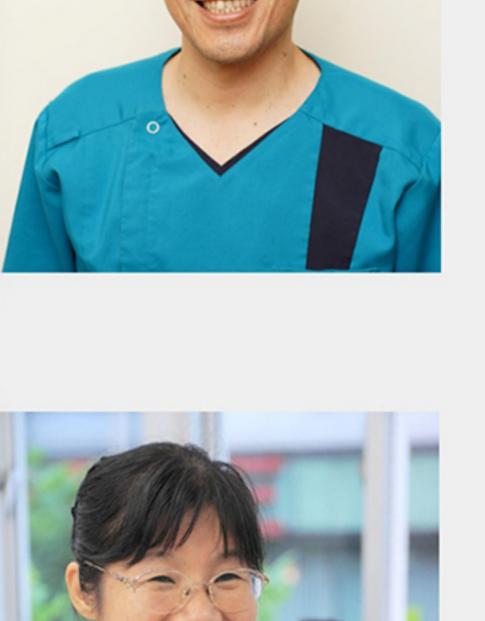
ムの勤務を振り出しに、平成14年に病院のない600人の

離島にて、看取りの家を設立。本人の望む自然死で抱きし

めて看取る実践を重ねる。全国各地に看取り土が常駐する

画「みとりし」原案・佼成出版社) 『いのちの革命』 (舩

井勝仁氏との共著 きれい・ねっと) 他多数。



「看取りステーション」を立ち上げ、"看取り士"と見守り ボランティアによる新たな終末期のモデルを作ろうとして いる。全国各地に「死の文化」を伝えるために死を語る講 演活動を行う。 令和元年9月には、死生観を伝える映画「みとりし」を制 作。全国ロードショー。著書に『私は、看取り士。』(映

WaRa倶楽無オーナー 1956年、岡山県生まれ。1986年、岡山県の吉備高原の山 奥で自然食の宿「百姓屋敷わら」をスタート。自然食を単 なる健康志向ではなく、幸せと感謝の生き方に進化発展さ せる。 2000年、ニュージーランドに移住し食をゆったり

自然食料理人

船越 康弘

ん』(集英社)、『野菜を信じるレシピ』(学研)があ る。 髙原 和也 余命2週間宣告から生還 1975年沖縄県生まれ。沖縄県職員として石垣島に勤務し ていた2007年、リンパの腫れや微熱が続き、「成人T細 胞白血病」と診断される。骨髄移植を受け一時寛解する

も、10か月後に再発。放射線治療で再び寛解し、2009年

に職場復帰。しかし再々発し、全身転移によって「余命

楽しんでもらう宿「オーベルジュWaRa NZ」を開業。

「WaRa倶楽無」をオープン。「百姓屋敷わら」でのイベ

ントを軸に、全国でセミナー、講演会、料理教室などを行

っている。著書に『わらのお話』(百姓屋敷わら)、妻

『わらのごはん』(地湧社)、『未来につなぐわらごは

のかおりとの共著に『わらの料理』(百姓屋敷わら)、

2006年12月、日本に拠点を戻し、生活提案型の宿

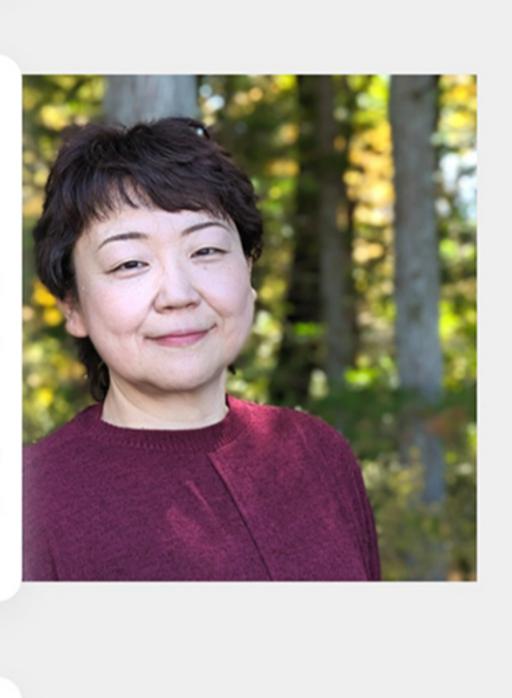


2~3週間」と宣告され退院。 その後、代替療法を模索す る中での出会いや、娘に起きた出来事をきっかけに意識が 大きく変容。医療に頼らず、心と身体のつながりや精神世 界を学びながら過ごし、2010年11月、がんは自然治癒 へ。2017年にはがんサバイバーとしてホノルルマラソン を完走。2019年に県庁を早期退職し、「Awakening

Support サロン なごみや」を開院。自身の経験をもと に、心と体の不調に寄り添うサポートを行っている。

ネドじゅん

脳と意識を探求するオカン 大阪府大阪市出身、千葉県在住。昭和40年代生まれ。 2016年のある日、突然に脳内から思考の声が消え、意識 の変容が起こる。以降、思考の声がまったく出ない右脳中 心の意識状態となり、直観や「つながり合う大きな無意 識」からの情報を受け取って発信している。左脳中心から 右脳中心への意識の変容をもたらす具体的なメソッドは、 人生そのものが苦しさから解放される人が続出。「悟り は、仕組みがわかったことで、誰でも会得できるスキルに なりました」。オンラインで脳と意識の自主研究活動を行 う「三脳バランス研究所タウン」(FANTS)所長。著書 『左脳さん、右脳さん。あなたにも体感できる意識変容の 5ステップ』(ナチュラルスピリット)



「1分体操」は、SNSで総再生数2億回を突破し、国内外

MC 渡邉 有優美

ギネス認定 開脚開運®の女王

20年以上にわたりヨガ指導の第一線で活躍し、延べ1万人 以上に直接指導。心と体を整えるメソッドとして確立した から圧倒的支持を集めている。著書『体も心も若返る1分 体操』(秀和システム)は、発売前重版・Amazonランキ

7月19日(土)

13:00

13:10

14:05

7月20日(日)

13:00

ング6冠達成のベストセラー。2023年、開脚前屈の保持 時間においてギネス世界記録を樹立。 企業研修・講演活動にも定評があり、ソニーをはじめとす る大手企業や自治体、教育機関にて多数登壇。近年では、 SNSブランディングや自己表現法の講師としても活躍し、 「運動は運を動かす」を信条に、人が本来の輝きを取り戻 すサポートをライフワークとしている。

開会 主催挨拶:野上徳子 MC:渡邉有優美 13:10 船越康弘(自然食料理人) 13:45 対談

14:05 加藤直哉 (統合医療医)

14:40 対談

開会

主催挨拶:野上徳子

MC:渡邉有優美

生と死の架け橋を紡ぐ医師



浦上哲也(慈陽院なごみ庵住職)

パネルディスカッション

MC:渡邉有優美

20日登壇者全員

主催挨拶:野上徳子

MC:渡邉有優美

閉会

ネドじゅん(脳と意識を探求するオカン)

14:30

15:10

15:50

16:50

 \sim 17:00

参加申込はこちら	
	•
こんな方におすすめです	
自分や家族の「死」に直面したことがある方	
人生の転機や迷いの中にいる方	
「死」を語ることを避けてきた方	

VOICE

VOICE

「医療のパラダイムシフトサミット2024」参加者の声

医療・介護・福祉の現場で"命"と向き合っている方

✓ 教育・心理・宗教・哲学など、人の"内面"に関わる仕事の方



VOICE 今の私に必要なことがメモできました F・Sさん

今日の皆様のお話がどれも素晴らしくて、感動いたしました。感情を感じきる、完成を大切にする、感覚に従う。今

2025年7月19日(土)、20日(日)

の私に必要なことをメモできました。明日から実践したいです。貴重なお話をありがとうございました。

徳子先生、あゆみかんさん、スタッフの皆様!!素晴らしい企画をしてくださりありがとうございました。人生が変



概要

日程

料金

備考

開催場所

S・Hさん

わるような瞬間を味わえました!!

オンライン開催 (申込者の方へ当日のURLをお送りいたし ます。)

無料

進行の都合により時間が前後する場合 もありますのでご了承ください。途中

入退室自由です。 画面録画録音、転載等はご遠慮くださ 610 円滑な進行と参加者全体の安全の確保 のため批判や中傷的な発言行為と運営 側で判断した場合、ご退出いただくこ

とがございます。ご理解とご協力をお 願い申し上げます。

Copyright 2025 医療のパラダイムシフトサミット運営事務局

特定商取引法に関する表記 | プライバシーポリシー | 決済に関する利用規約